

## 平成21年度ワカサギ漁期前調査結果

### 1. 調査方法

#### (1) 調査日時

- ① 霞ヶ浦 :平成21年7月1日(水)
- ② 北浦 :平成21年7月8日(水)

#### (2) 調査水域

- ① 霞ヶ浦 :湖心(表層・底層), 土浦入(底層), 高浜入(底層)
- ② 北浦 :水原(表層), 白浜(表層), 江川(表層), 馬渡(表層)

※北浦の調査は、南風(風速約4m)が吹いて湖面が波立ち気味であったことから、全て表層曳きで行った。

#### (3) 採集方法 わかさぎ・しらうおひき網漁業(曳網時間は原則20分)

### 2. 調査結果

#### (1) 採捕量と尾数

##### ① 霞ヶ浦

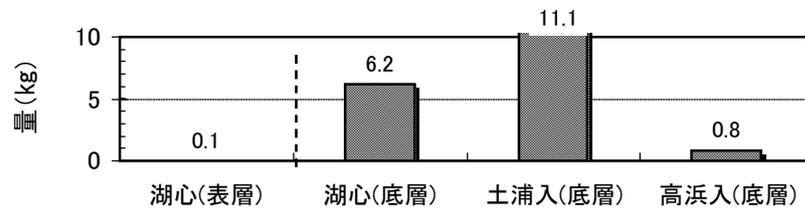


図1-1. 地点別採捕重量

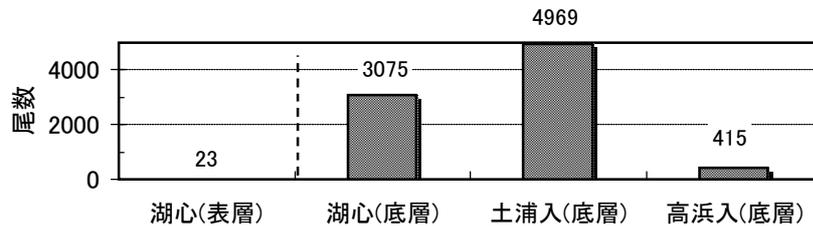


図1-2. 地点別採捕尾数

##### ② 北浦

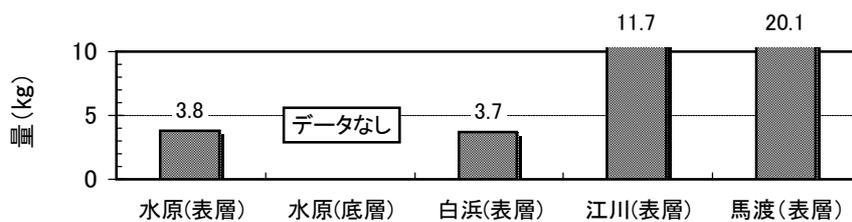


図2-1. 地点別採捕重量

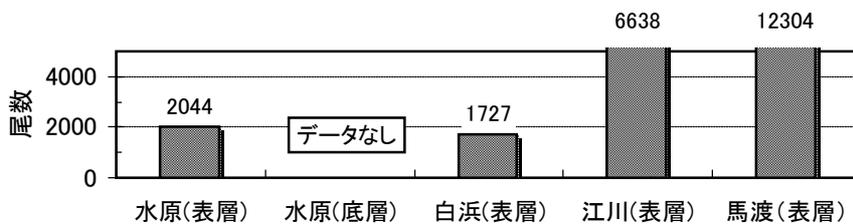


図2-2. 地点別採捕尾数

(2) 採捕尾数の推移

① 霞ヶ浦

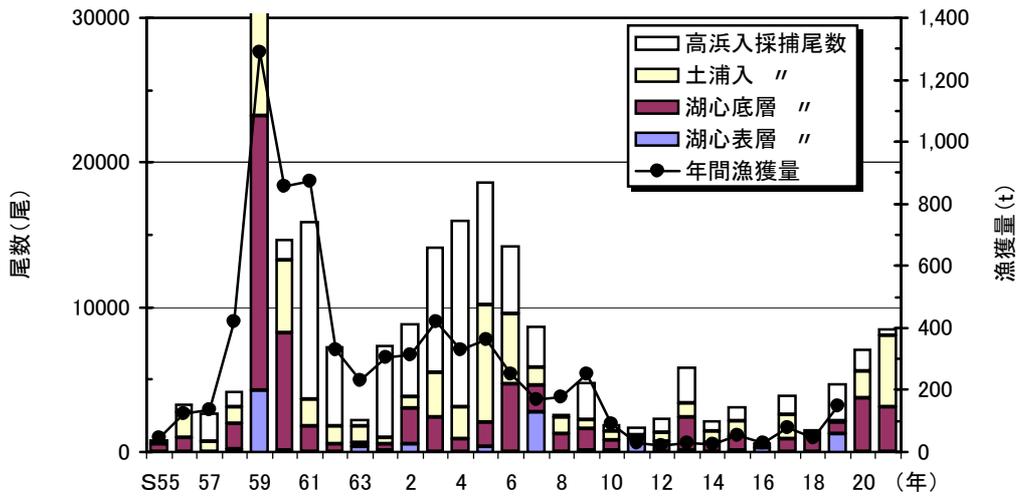


図3. 採捕尾数および年間漁獲量の推移(霞ヶ浦)

② 北浦

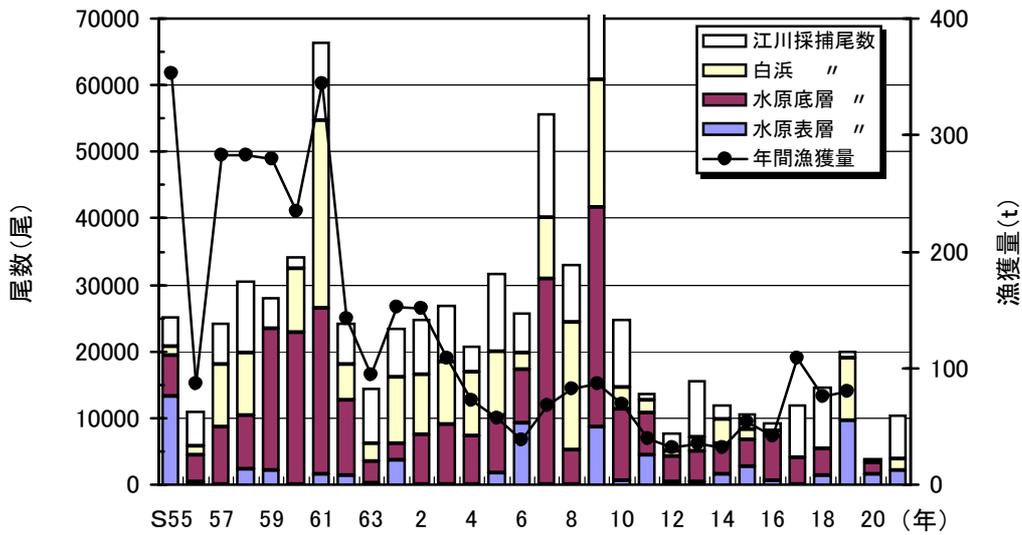


図4. 採捕尾数および年間漁獲量の推移(北浦)

『採捕尾数は、霞ヶ浦では過去10年間で第1位、北浦では暫定7位』

※今年の北浦は、水原の底層のデータが含まれていないため暫定順位。

また、水準としては平均的な位置にある。

(3) 平均体長と体重

① 霞ヶ浦

地点	曳網層	体長(cm)	体重(g)
湖心	表層	5.8	2.0
湖心	底層	5.8	2.0
土浦入	底層	6.0	2.2
高浜入	底層	5.7	1.9

⇒ 過去10年では、平均的な大きさ

② 北浦

地点	曳網層	体長(cm)	体重(g)
水原	表層	5.7	2.0
水原	底層	-	-
白浜	表層	5.8	2.2
江川	表層	5.6	1.8
馬渡	表層	5.4	1.6

⇒ 過去10年では、やや小さい大きさ

#### (4) 試験結果と漁獲量の関係

##### ① 霞ヶ浦

今年の試験操業の採捕重量は18.1kgで、過去10年間(H11-20)で最も高い水準であった。採捕尾数は過去10年で最も高い水準であった。採捕尾数を水域面積で補正した面積補正尾数は3,292尾となり、これも過去10年で最も多い水準となった。

魚体サイズは1.9～2.2gで、平均的な大きさであった。

昭和55年から平成19年までの採捕尾数と漁獲量には相関関係がみられることから(図5)、これに基づいて回帰分析を行うと年間漁獲量は292トン(±43トン)と推定された(図5中の●印)。

以上のことと、好漁だった昨年(平成20年)と一昨年(平成19年)の調査結果および年間漁獲量を考えると、平成21年漁期の漁獲量水準としては、100～150トンが見込まれる。

### 『平成21年の霞ヶ浦では、年間漁獲量にして 100～150トンが見込まれる』

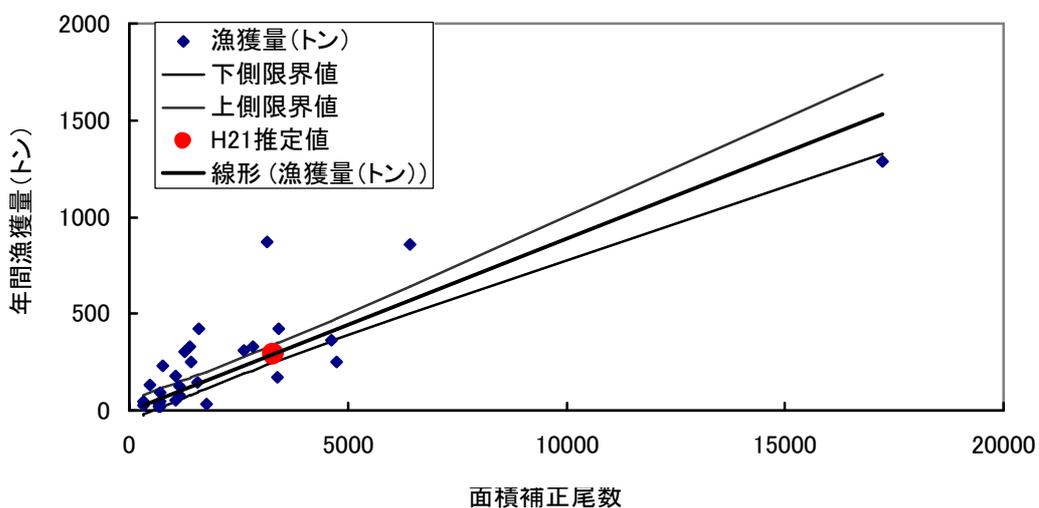


図5. 霞ヶ浦における試験採捕尾数と年間漁獲量

\*面積補正尾数 = (湖心表層 + 底層) × 0.58 + 牛渡 × 0.29 + 高浜入り × 0.13  
(各水域での採捕尾数に水域面積をかける)

## ② 北 浦

今年の試験操業の採捕尾数は10,409尾であり、過去10年では平均的な水準であった。

魚体サイズは1.8～2.2 g、平均では1.9 gで、過去10年ではやや小さかった。

昭和55年から平成19年までの採捕尾数と漁獲量には若干の相関関係が認められ(図6)、これにより回帰分析を行うと、平成21年の漁獲量は44トン(±34トン)と推定される(図6中の●印)。ただし、今年の推定では、水原の底層でのデータが反映されていない。よって、それを踏まえると44トンよりも高い推定値も期待できる。

以上のことと、これまでの調査結果および年間漁獲量を考えると、平成21年漁期の漁獲量水準としては、50～100トンが見込まれる。

### 『平成21年の北浦では、年間漁獲量にして 50～100トンが見込まれる』

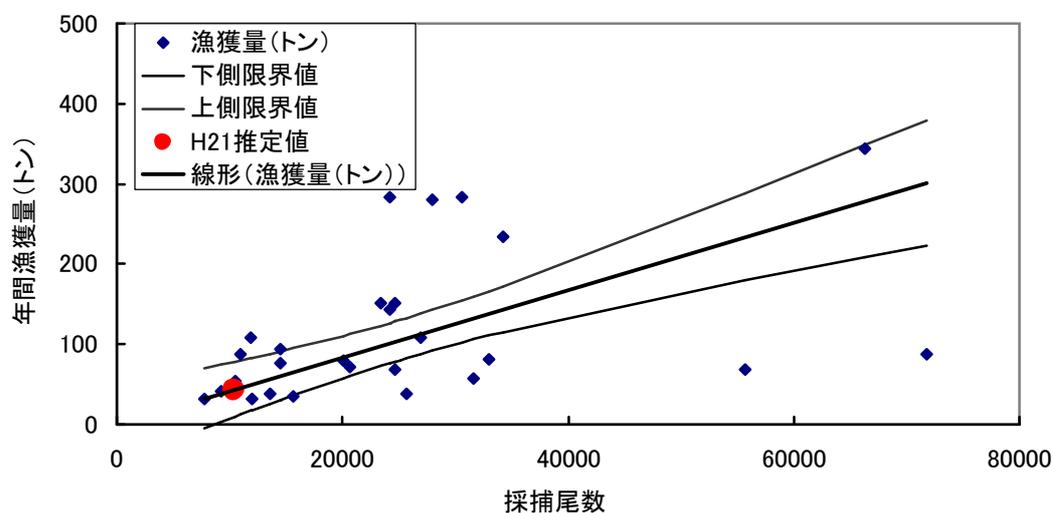


図6. 北浦における試験採捕尾数と年間漁獲量